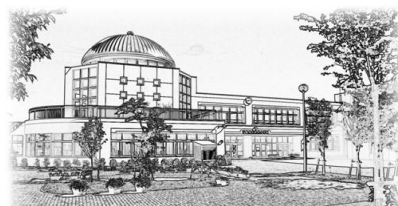




いづみさわ



千歳市立泉沢小学校学校だより 号外 令和7年11月28日

(電話) 0123-28-5830 (ファックス) 0123-28-5831 (HP) <https://chitose-edu.jp/izumisawa-e/>

【令和7年度重点目標】 『笑顔と思いやりをもつ たくましい子の育成』

～ 「自ら学び」「自ら対話」し共に学ぶ喜びを実感できる子どもの育成 ～



令和7年度 全国学力・学習状況調査の結果 ～千歳市立泉沢小学校～

保護者の皆様には、日頃より本校の教育活動にご理解とご協力を頂き、誠にありがとうございます。
ます。

さて、本年4月に実施いたしました全国学力・学習状況調査の本校の結果がまとまりましたので、その概要をお知らせいたします。本校では、この調査結果を踏まえ、児童の学力向上プランを作成し、学校の教育計画や日常の授業の改善に取り組んでまいります。

教科に関する調査結果

本年は、国語と算数、理科の3教科および質問紙で調査が行われました。それぞれの結果を全国平均と比較しながら本校の学力の傾向を分析していきたいと思っております。そこから読み取れる実態に合わせた「授業改革」を実施していき、日々の授業を向上させていきたいと考えています。

本校の授業改革の取組の視点は次の3つです。①「個別最適な学びを支える指導の工夫」②「協働的な学びを支える指導の工夫」③「学習の基盤となる土台づくり」です。これらの視点を持って更なる授業の向上を目指していきます。そこへ、学習調査の結果を加味させて、児童の学力向上へ努めていきます。

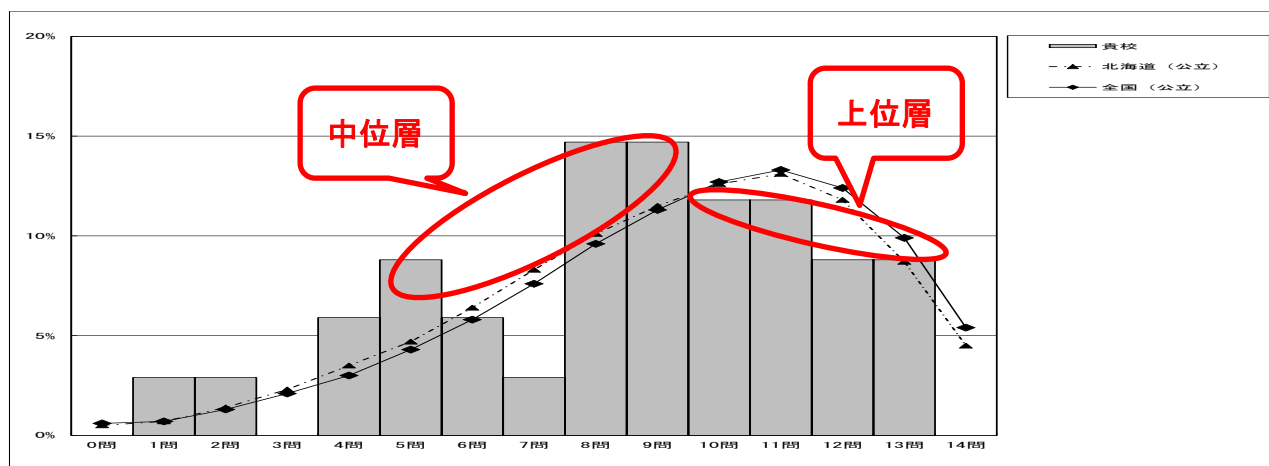
本校の調査結果は次のようになりました。各教科、詳細分析を掲載致しますのでご覧ください。

国語	全国の平均正答率と比較すると低い結果でした。
算数	全国の平均正答率と比較すると低い結果でした。
理科	全国の平均正答率と比較すると同等の結果でした。

国語

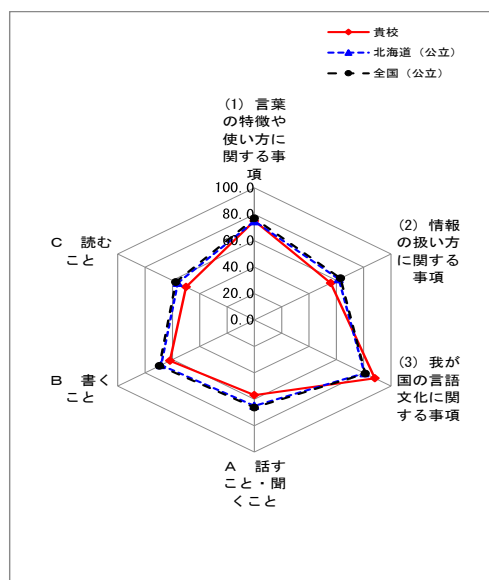
全国の平均正答率と比較すると低い結果でした。

① 正答数の分布



正答数が、8問、9問の児童の割合が全国平均より高くなっています。一方、正答数が11問から15問の児童の割合は、全国平均より低くなっています。中位層が多く、上位層が少ない状況が見られます。

② 6つの領域別の分布



本校では、領域別でみると全体的に「全国を下回っている」結果となりました。「我が国の言語文化に関する事項」については、全国平均を上回る結果となりました。今後も伸びが継続するような学習の定着を図ります。その他の領域では、「読むこと」、「書くこと」、「話すこと・聞くこと」、「情報の扱い方に関する事項」においては、全国平均より下回っています。本校では、音読などの「読み」を中心に学力の定着を図っていきたいと考えています。

③ 全国平均を上回った問題

問題番号	平均正答率		問題の概要	出題の趣旨
	本校	全国		
2四イ	73.5	72.1	【ちらし】の下線部イを書き直す (あつい日)	学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うことができるかどうかをみる。

山田さんは、「ちらし」を読み返し、習っている漢字がひらがなになっていた。部ア、イを漢字に書き直すことにしました。次の部ア、イを漢字で書いてねいに書きましょう。

相手のア二のみに合わせて、もようを選び、おくることができます。

あついでに、水でぬらして首にまくと、すずしく感じます。

正答 暑 (い)

正答率
73.5%
無回答
2.9%

④ 全国平均を下回った問題

問題番号	平均正答率		問題の概要	出題の趣旨
	本校	全国		
3三 (1)	20.6	40.8	【話し合いの様子】の田中さんの発言の空欄 A に当てはまる内容として適切なものを選択する。	目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見つけてことができるかどうかを見る。

(1) 「インタビューの様子の一部」の小森さんが、部アのように発言した目的として最も適切なものを、次の 1 から 4 までの中から 1 つ選んで、その番号を書きましょう。

1 自分が知りたいことをより具体的に知るため。
2 質問する理由を相手に正しく伝えるため。
3 自分の理解が正しいかどうかを相手に確かめるため。
4 相手が伝えたいことの内容を明確にするため。

(2) 「インタビューの様子の一部」のものを、次の 1 から 4 までの中から 1 つ選んで、その番号を書きましょう。

1 相手の答えは自分の予想とお
2 自分が聞こうとしていた内容
3 相手の答えと自分の考えを比
4 自分が共感した内容を取り上げて、話題を広げようと考えたから。

正答 3

正答率
20.6%
無回答
40.8%

注目！

「インタビューの様子の一部」

小森さん 私たちは、働くことについて考えるために、興味のある仕事について調べています。今日は、岡さんの仕事についてうかがいます。どうぞよろしくお願ひします。

岡さん どうぞよろしくお願ひします。

小森さん はじめに、バスの運転士として岡さんが大切にしていることを教えてください。

岡さん バスはたくさんの人を乗せていますから、やはり、安全に目的地までお送りすることを大切にしています。

小森さん 安全に運転することは大事なことでですね。ア 安全に運転するために、例えばどのようなことを心がけているのですか。

岡さん 道が混んでいると時刻どおりに運行できないこともあります。あわててしまうと、大きな事故につながる恐れがあるので、落ちついて運転するようにしています。それに、バスの安全を守っているのは運転士だけではないんですよ。

小森さん えっ、そうなんですか。運転士のほかにどんな人がいるのですか。

岡さん 出発する前に、自分でもバスの点検をしますが、整備士も定期点検をしています。そのほかに、私たち運転士の健康状態を確認するなど、安全な運行を管理する人もいます。

小森さん なるほど。たくさんの方が、乗客の安全を支えてくださっているんですね。私たちは時間を守ることも大切だと思っていますが、私たちが思っていた以上に安全を第一に考えてくださっていることが分かりました。

清川さん バスの安全な運行のためには、大変なこともあると思いますが、いかがですか。

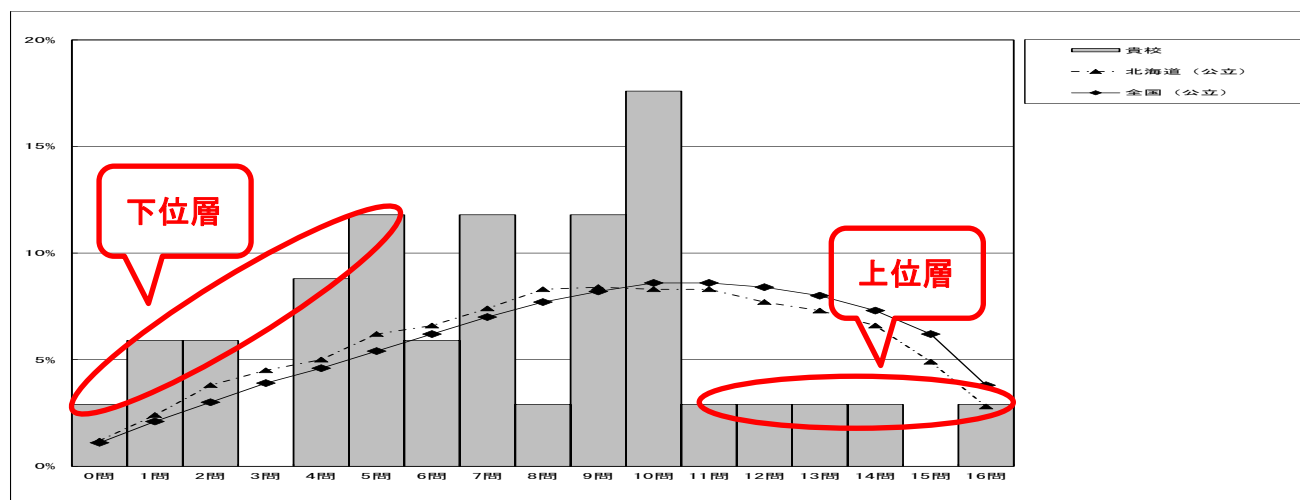
〆 (インタビューが続く) 〆

国語の力は、すべての学力の基礎であるとして捉え、今後も「読む」「書く」の活動を大事に授業づくりにつなげていきたいと考えます。そのためにも、日頃からの読書活動や漢字の書き取り、対話を用いた授業の展開など基本的な取組を続けて強化していきたいと考えています。

算数

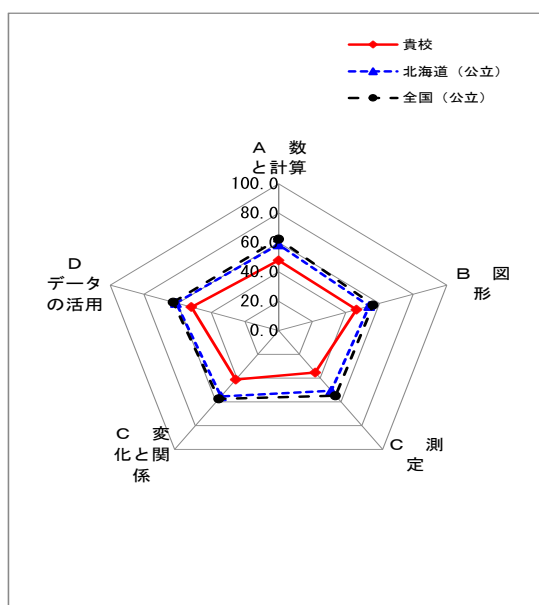
全国の平均正答率と比較すると低い結果でした。

① 正答数の分布



正答数の分布をみると、0問、1問、2問、4問、の児童の割合が全国平均より高くなっています。また、11問から16問の児童の割合が全国平均より低くなっています。算数における実態は、上位層が少なく、下位層が多い状況が見られます。

② 5つの領域別の分布



5つの領域をみると、どの領域も全体的に全国の平均正答率を下回る結果となりました。まずは、「数と計算」領域を上げ、四則計算などの基礎的・基本的内容から学習を積み上げていく必要があります。

また、「図形」「測定」「変化と関係」「データの活用」領域においては、知識を活用して、自分で考え、考えをまとめたことを相手に伝えるなど授業改善と学校や家庭でタブレットを有効に活用していく必要があります。

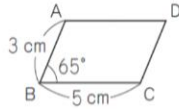
③ 全国平均を上回った問題

問題番号	平均正答率		問題の概要	出題の趣旨
	本校	全国		
2(3)	82.4	79.3	角を作る二つの辺をそれぞれ伸ばした図形の角の大きさについてわかることを選ぶ。	角の大きさについて理解しているかどうかをみる。

2

わかさんたちは、いろいろな図形について学習してきたことをふり返っています。

(1) 下のような平行四辺形ABCDがあります。



わかさんは、右の【わかさんのかき方】のように、平行四辺形ABCDをかいています。

正答 ウ

正答率

82.4%

無回答

2.9%

(3) わかさんは、図1の㊸の角と図2の㊹の角の大きさを比べています。図2の㊹の角をつくっている2つの辺は、図1の㊸の角の2つの辺をそれぞれ伸ばしたものです。

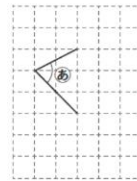


図1

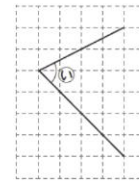


図2

㊸の角と㊹の角の大きさについて、どのようなことがわかりますか。下の ア から エ までのの中から1つ選んで、その記号を書きましょう。

ア ㊸の角の大きさのほうが大きい。

イ ㊹の角の大きさのほうが大きい。

ウ ㊸の角と㊹の角の大きさは等しい。

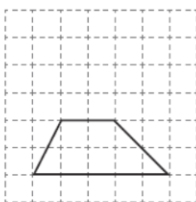
エ ㊸の角と㊹の角の大きさがわからないので、このままでは比べることができない。

④ 全国平均を下回った問題

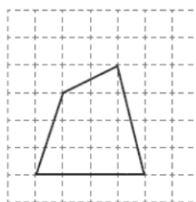
問題番号	平均正答率		問題の概要	出題の趣旨
	本校	全国		
2(2)	26.5	50.5	方眼上の5つの図形の中から台形を選ぶ。	台形の意味や性質について理解しているかどうかをみる。

(2) わかさんは、方眼紙に下の 1 から 5 までの四角形をかきました。
下の 1 から 5 までの中で、台形はどれですか。
3つ選んで、その番号を書きましょう。

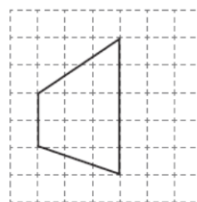
1



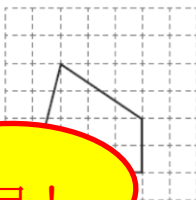
2



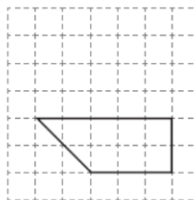
3



4



5



正答 1, 3, 5

正答率

26.5%

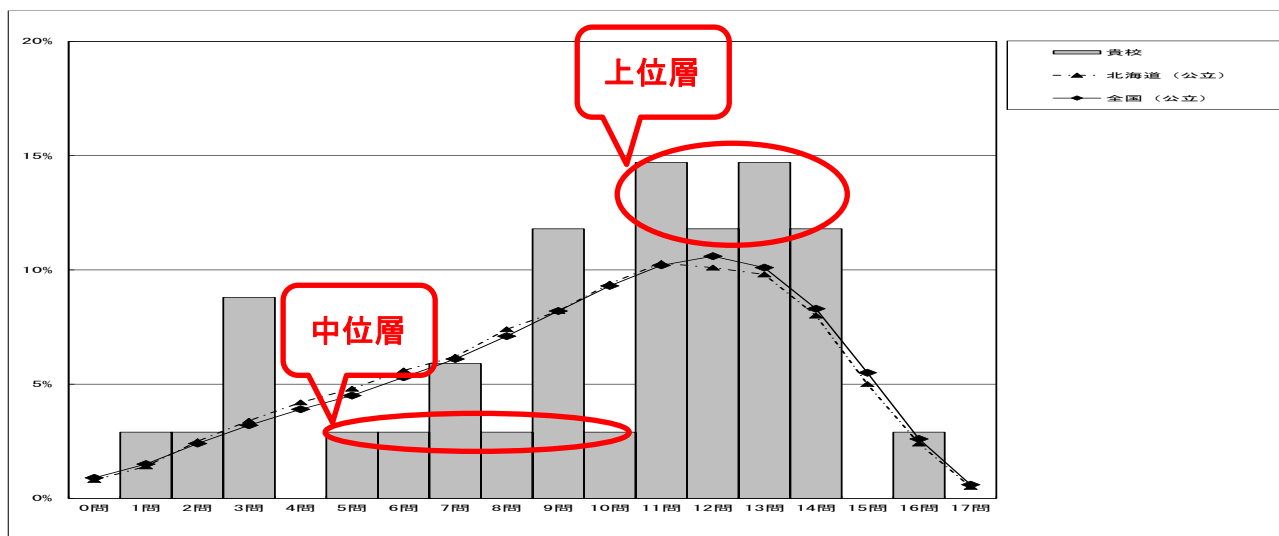
無回答

0.0%

注目！

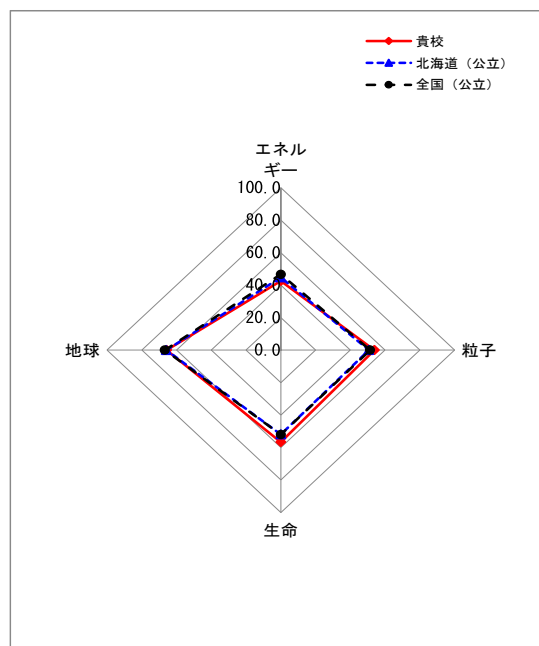
算数の学習を生活に活用し、日常の事象を数理的にとらえ、見通しをもち、筋道を立てて考察する力を身につけていくことが大切です。また、具体物や図や数、式、表、グラフ相互の関連を図り、問題解決する力を養っていく必要があります。

① 正答数の分布



正答数が3問の割合が全国平均より高いものの、9問、11問～14問の。割合が全国平均より高くなっています。5問から10問の割合である中位層に児童の割合が少なくなっていますが、全体的に上位層に児童の割合が多くなっています。

② 4つの領域別の分布

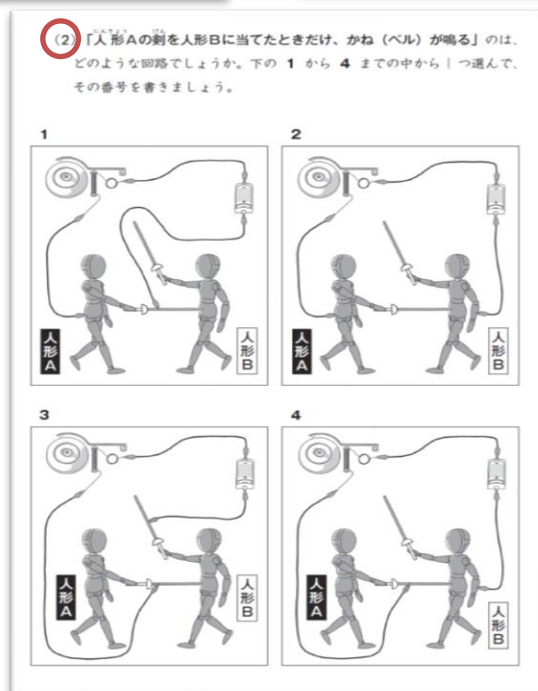
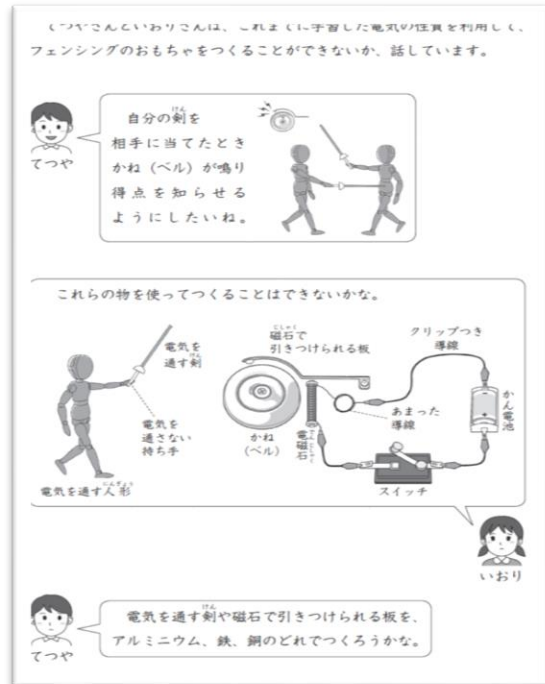


全体的に全国の平均正答率とほぼ同等の結果となりました。4つの領域別においては、「エネルギー」の領域が下回り、「粒子」「生命」「地球」の領域では全国平均同等でした。

今後も、観察や実験で予想や仮説を立てて自分の考えをもち、問題を解決させ、興味・関心がもてる授業を展開していきます。

③ 全国平均を下回った問題

問題番号	平均正答率		問題の概要	出題の趣旨
	本校	全国		
2(2)	35.3	42.9	電気を通す物と通さない物でできた人形について、人形 A の剣を人形 B に当てたときだけベルが鳴る回路を選ぶ。	電気の回路のつくり方について実験の方法を発想し、表現することができるかどうかをみる。



正答 4

正答率
35.3%
無回答
0.0%

注目！

理科は、観察・実験を通して、予測・仮説の設定、結果の考察（検証）というプロセスが大切です。意見交換の際には、他者とのかかわりの中で自分の考えをより適格に表現する力が求められます。

児童生徒質問紙調査の結果

項 目	R7 本校 結果 (%)	R7 全国 結果 (%)
1 朝食は毎日食べていますか。	78.1	83.3
5 自分には、よいところがあると思いますか。	62.5	47.3
6 先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか。	65.6	55.3
9 いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。	96.9	81.4
15 普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはどれくらいありますか。	53.1	54.5
17 学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強していますか。（学習塾で勉強している時間や家庭教師に時間に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間を含む）1時間以上	62.6	54.0
18 普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンで SNS や動画視聴などをしますか（携帯電話やスマートフォンを使って学習する時間やゲームをする時間は除く）。2時間以上	21.9	8.6
28 5年生までに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用しましたか。平均3回以上	37.5	27.5
31 5年生までに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか。	25.0	26.8
38 先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思いますか。	59.4	47.7

注目！

【傾向と対策】

全体的に高い数値でした。（オレンジ色は、取組として全国平均よりよかった結果を表しています。）17で1日当たりの授業以外の学習時間の割合が高い一方、18で1日当たりの携帯電話やスマートフォンで SNS や動画視聴する時間が2時間以上であり、家庭で動画視聴をして過ごしている児童が全国平均の2.5倍の結果となりました。

ご家庭での勉強や SNS の時間などについては、見通しをもって計画を立てて過ごすことが大切です。ゲームや勉強の時間は、お子さんと「何時に」「どれくらい」やるかを話し合って決めましょう。お子さんが決めてそれを実行することで生活リズムを整えます。

学校では、授業や休み時間などでドリルパーク（AI ドリル）に取り組ませ学習の定着を図るよう目指しています。